

オレンジの行列 松山に

ヤンボラ新聞

ヤングボランティアセンター
No.2
平成21年3月17日発行

松山市堀之内 愛媛県美術館南館内
TEL・FAX: 089-932-0160
e-mail: youngvolhime07@yahoo.co.jp

エコウォーク 子規堂など名所訪ね 40人参加 ゴミも収集 210ℓ

平成二十年四月二十七日(日)、今年度初めての行事として「松山を知ろう!ヤンボラエコウォーク」を実施した。晴天に恵まれ、絶好のイベント日和となった。愛媛県下から40名の高校生が集まり、「坂の上の雲」ゆかりの秋山兄弟生誕地や子規堂等を訪ね、松山のことを学習した。



ゴミ箱を背負いながら移動



大名行列のように歩く参加者

今回の活動は、歩いて史跡を巡る「エコウォーク」にゴミ拾い(クリーンウォーク)の要素をプラスしたもので、年度当初の活動としては盛大なものとなった。

事前にリーダーはコースを何度も下見。45ℓのゴミ袋一袋あれば十分だと誰しもが思っていたが、実際に拾ってみると70ℓの袋三袋分のゴミが集まった。もっと愛媛県のことを知ろうとエコウォークを企画したはずが、ゴミ拾いがメインの

ようになつてしまった。昨年度作ったオレンジ色のジャンパーを参加者全員が身にまとい、大名行列のように歩いた。それを見た歩行者から話しかけられる一幕も。地域の方から「きれいにしてくれて、ありがとう」と声をかけていただくこともあった。

この活動のリーダーを務めた石丸隆祥さん(松山北高校三年)は「ヤンボラ史上で一番準備に時間をかけた活動となった。イベントを企画運営

するのは大変だったが、いろいろな方々のご協力や、参加者のみんなの熱い思いに支えられ、無事成功を収めることができた。感謝の気持ちでいっぱいだと話す。

「自分たちの住む地域の文化を学び、街の景観を気にかけることで、より一層街を好きになってほしい」という気持ちを大事にして、今後、第二弾・第三弾と計画していきたい。

若者に献血呼びかけ

血液不足解消へ一役



大街道で呼びかけをしている様子

期と比べ、献血協力者が増えるという良い結果が出た。(資料1参照)

ヤンボラでは、普段から情報収集のため、新聞記事のスクラップをしている。

十二月に愛媛県赤十字血液センターの方より献血車の情報が入り、その中から宇和島・松山(二十三日)・新居浜(二十七日)・今治(二十八日)の4カ所で活動をするこ

とができた。地元の高校生にも協力を

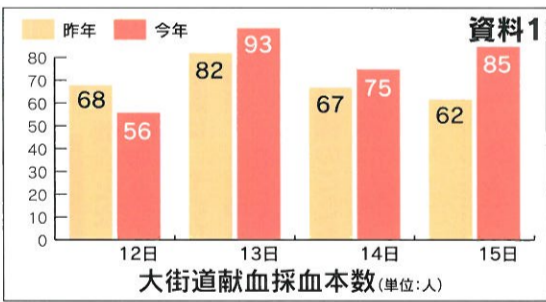
お願いし、寒空の中、献血車周辺で呼びかけを行った。各地で目標を十(二十人)上回る結果が出た。(資料2参照)

参加した三十九名の高校生から「楽しかった!」「また、参加したい!」という意見が出た。この活動をとおして、地元

の高校生の交流とも深めることができ、楽しい活動となった。

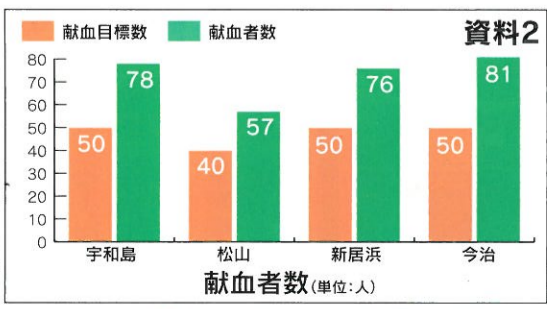
これらの活動は、愛媛県の「ウィンターボランティア・キャンペーン2008」協賛イベントとして、愛媛ボランティアネットワークにも紹介されている。

血について学習でき、多いMISISONだった。一番うれしかったのは、自分たちの声が他の人に届いたと実感できたことだ。私たちの呼びかけでも役に立つことが分かり、是非東予や南予でもこの活動を広げたいと思う」と話す。



献血車横で協力者と話すスタッフ

そのうち2カ所に参加したリーダー、窪田のぞみさん(愛媛大学附属高等学校一年)は、「輸血のおかげで多くの尊い命が救われている。しかしながら、血液が不足している。一人ひとりの善意が人々を救う。ヤンボラは、今後もこのような活動に積極的に参加したいと思う」と抱負を述べた。



事前に献血のことを学ぶスタッフ

ボランティア何年生??

ボランティア経験3年になったよ

私は7年だよー

でも...私、初めて...

大丈夫!先輩も先輩も手伝ってあげるよ!

一緒にがんばろう!!

ヤンボラ!!

フーン!!

松山で1周年記念イベント

フォトラリーで競い らくさぶろう氏講演も

平成二十年十一月二日(日)、昨年の「MISSION01」からちょうど一年経つことから記念イベント「1st Anniversary ヤンボラリー2008」を実施した。愛媛県下から56名の高校生が集まり、最大のイベントとなった。第一部は、フォトラリー(写真をたどってコースを回り、クイズを解きながらコースを時間内に回るグループ対抗ゲーム)を行い、第二部は、らくさぶろう氏を迎え、記念講演「情熱こそパワーに」を実施した。

座談会の後、記念撮影



この企画は、ボランティアのアイの心を学びながら、交流を深める目的で行った。イベント名は、「RALLY」という言葉の意味の中に人を集めるという意味があることから、ヤンボラとをくっつけ「ヤンボラリー」と名付けた。

果、フォトラリーが予想以上に早く終了してしまつた。「もの足りない」という感想が返ってくる。一方、自由時間が増え、「参加者内で話が盛り上がった」との声も聞けた。

第二部は、テレビ・ラジオで活躍されているらくさぶろう氏を講師に迎え、講演していただいた。生い立ち、テレビに出始める頃、テレビ局へ自分にファンレターを出した話、らくおぼちゃん誕生秘話等、おもしろい話が満載であった。



フォトラリーの第二ポイントでクイズに答えている一グループ

講演の後半には、ボランティアについて「責任を持って活動しなければならぬ」「少し上の目標を持って行動したらいい」などのアドバイスをしていただいた。ヤンボラの活性化に繋がる一日となった。講演後は、ヤングボランティアセンターに戻り、らくさぶろう氏を囲んで座談会を行った。らくさんから将来の夢等を聞かれ、それぞれの思いをぶつけ合い、充実した時間を過ごした。らくさぶろう氏とのコラボも今後行えたらいいと思う。

つながりを大切に!

交流会や講習会
やのひろみ氏とコラボ実現



活動後、やのひろみ氏と

MISSION01以外にも、交流会や講習会などを通じて、ボランティアの「輪」を広げる活動を行った。その中でも、十二月二十五日(木)に参加した活動は、ヤンボラを広める一つの機会となった。この「GO・MIX」という活動は、やのひろみ氏が出演する南海放送ラジオ番組「本気?ラジ!」内での清掃のことだ。松山市内の河川敷を清掃し、タバコの吸殻や紙お

むつなどを拾った。車からゴミを捨てるマナーの悪い人がいることを知った。今後は、啓発活動にも力を注いでいきたい。やのひろみ氏とは、また一緒に活動させていきたいと思っている。

- この他に参加した活動**
- 手足の不自由な子どものためのリーダー会主催の梅津寺遠足(障がい者の介助活動)
 - 八幡浜市のまちづくりグループYGP「八幡浜元氣プロジェクト」のクリーンプロジェクト(清掃活動)
 - 移動先で立ち寄ったJR四国の駅周辺清掃
 - クリスマス会講習会
 - バルーンアート講習会
 - 新聞作成講習会

ついに「ヤンボラ新聞 No.2」が完成しました。たくさんの方々の協力と支援があったからです。本当にありがとうございました。みなさんも私たちと一緒にボランティアしましょう。

編集後記

《新聞作成スタッフ》
田和 彩花(松山中央)
石丸 隆祥(松山北)
三浦 由望(松山西)
藤石 琴(松山西)
加藤 愛(松山西)
本田宗由貴(松山南)
正木 祐輔(伊予)
塚本 朋子(上浮穴)
藤石 萌(松山東)
奥田 彩香(聖カタリナ)
武智 晴加(松山南部分校)
窪田のぞみ(愛大附属)
門田 亮磨(今治工業)
中村 晃大
(聖カタリナ大学短期大学)
清水 隆浩(松山大学)

新居浜南高等学校情報科学部

別子銅山のあれこれ

「セミプロ」5人が案内

新聞スクラップ活動の中で、何度か新聞に掲載されている活動があることを知った。愛媛県立新居浜南高等学校情報科学部が行っている別子銅山ガイドボランティアである。そこで、平成二十年七月二十七日(日)に新居浜市にあるマイントピア別子で取材することにした。

山鉄道に乗り込み、旧火薬庫を利用して作られた観光坑道入口から銅山内部、出口に至るまでの各ポイントでガイドを行う。ガイドは、当時の銅山で働く労働者の様子、当時使用していた道具等を説明していく。ガイドをするために、近隣に住む方々から話を聞き、集めた情報をまとめ上げ、どのようにしたら訪れる方々に銅山のことを知ってもらえるかと努力を重ねている。彼らは、その全てを暗記。お客さんも日本人とは限らず、外国人も訪れるとのこと。情報科学部の部長古川竜也



観光坑道内でガイドする部員

さんは「お客さんとのコミュニケーションが難しいが、とてもやりがいがある。」と語ってくれた。これからの活動については、「他の学校や違う世代の人にも知ってほしい」と話す。

部員間のフォローのすべのために、近隣に住む方々から話を聞き、集めた情報をまとめ上げ、どのようにしたら訪れる方々に銅山のことを知ってもらえるかと努力を重ねている。彼らは、その全てを暗記。お客さんも日本人とは限らず、外国人も訪れるとのこと。情報科学部の部長古川竜也

「ゆかしボランティア」シリーズ化

来年度「ゆかしボランティア」として活動をシリーズ化する予定。

愛媛県下で活躍する青少年ボランティアを取材し、ホームページ上で発信を行い、さらにボランティアの輪を広げていこうとするものである。この名称は、古語の「ゆかし」(「見たい・聞きたい・知りたい」という意)から取ったもので、古典を勉強していたあるスタッフが考えた。

次の取材先募集!

・愛媛新聞社
ほか、お世話になった方々

ご協力いただきありがとうございました。

ヤングボランティアスタッフ募集!!

〒790-0007 松山市堀之内 愛媛県美術館南館内
TEL・FAX:089-932-0160
メールアドレス:youngvolheim07@yahoo.co.jp

くわしくは、ホームページをご覧ください。

ヤンボラ

